

- 問1 1950年から2100年までの世界各地の人口変化と将来予測に関する統計において、1950年に約2.2億人であった人口が、2050年には約24.8億人、2100年には約42.8億人に達すると予測され、他の州を上回る圧倒的な伸びを示している地域はどこですか。 (2022年 島根県公立入試 類似)
1. ヨーロッパ州 2. アジア州 3. 南アメリカ州 4. アフリカ州
-
- 問2 緯線や経線に沿って引かれた直線的な国境線は、現代のアフリカにおいてどのような問題を引き起こす要因となっていますか。その影響について述べたものとして適切なものを選びなさい。 (2017年 三重県公立入試 類似)
1. 地形を無視して国境を定めたことにより、国境付近での大規模な農業開発が不可能になったこと 2. ヨーロッパ諸国の言語が国をまたいで普及したことで、独自の民族文化がすべて消失したこと 3. 同一の民族が複数の国に分断されたり、敵対する民族が同じ国に共存したりすることによる紛争の発生 4. 直線的な国境線は防衛が困難であるため、近隣諸国との間で軍備増強競争が過熱していること
-
- 問3 アフリカの産業構造の変化や、地域統合の動きについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
1. モノカルチャー経済から脱却するため、すべての国が共通通貨を導入し、工業製品の輸出額が一次産品を上回ようになった。 2. かつての宗主国との関係を断絶するため、EUのような広域経済圏には参加せず、一国主義による経済開発を継続している。 3. アフリカ諸国が結成したAUは、政治的・経済的な統合を強め、地域内の紛争解決や発展を自らの手で進めることを目指している。 4. APECに加盟することで、アフリカ大陸全体で関税を撤廃し、北米諸国との自由貿易を最優先で進める方針をとっている。
-
- 問4 アフリカ最大の人口を抱えるナイジェリアでは、2023年の輸出統計において、輸出全体の80.6パーセントを原油が占め、液化天然ガス（9.2パーセント）などの限られた資源に頼る貿易構造となっています。このように、特定の農産物や鉱産資源の輸出に国家の経済が大きく依存している経済構造を何といますか。 (2026年 高知県公立入試 類似)
1. モノカルチャー経済 2. 輸入代替工業化 3. 多角経営 4. 混合農業
-
- 問5 地球上の存在量が少ない、あるいは技術的・経済的な理由で抽出が困難であるため流通量が少なく、スマートフォンなどの電子機器の製造に不可欠となっている「コバルト」などの金属の総称を何というか。 (2023年 静岡県公立入試 類似)
1. 軽金属 2. レアメタル 3. 非鉄金属 4. 貴金属
-
- 問6 アフリカ連合（AU）が加盟国間の統合を推し進めている背景にある、地理的・歴史的な事情を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 福島県公立入試 類似)
1. 砂漠化や熱帯雨林の減少などの環境問題が完全に解決されたため、その成果を世界に広めるための広報組織が必要になったから。 2. 植民地時代の国境線によって民族が分断されたり内陸国が生じたりしたため、国境を越えた経済協力や紛争解決の枠組みが必要だから。 3. 加盟国のすべてがモノカルチャー経済を脱却して高度経済成長を遂げたため、共通通貨を導入してヨーロッパに対抗するため。 4. アフリカ全土で公用語が一つに統一されており、民族間の対立が全く存在しないため、政治的な統合が容易に進んでいるから。
-
- 問7 東アフリカに位置し、中央部に標高5000mを超える山を持つケニアでは、ある穀物の粉を練り上げた「ウガリ」という食べ物が主食として親しまれています。この「ウガリ」の主な原料となる農産物はどれですか。 (2021年 東京都公立入試 類似)
1. 米 2. 小麦 3. とうもろこし 4. キャッサバ
-
- 問8 アフリカのナイジェリアでは、輸出額全体のうち原油が約8割を占めています。このような経済構造を持つ国において、国際的な原油価格が下落した場合に予想される状況として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
1. 国家収入の大部分を原油の輸出に依存しているため、国の経済が大きな打撃を受ける 2. 他国の工業製品の輸入が促進されるため、国内の経済状況は以前よりも安定する 3. 国内での原油消費量が自動的に増加するため、製造業が発展し国民の所得が向上する 4. 農産物の輸出を急激に増やすことで、原油価格の下落分を容易に補うことができる
-
- 問9 1993年には金、ダイヤモンド、石炭などの鉱産資源が輸出の上位を占めていた南アフリカ共和国では、2014年の統計において、機械類や自動車輸出の上位に入っています。このような変化の背景として最も適切な説明はどれですか。 (2017年 山形県公立入試 類似)
1. 工業化が進んだことで、従来の鉱産資源に加えて機械類や自動車などの工業製品の輸出割合が増加した。 2. 資源が完全に枯渇したため、鉱産資源の輸出をすべて廃止し、観光などのサービス業のみに経済を切り替えた。 3. 特定の資源に依存するモノカルチャー経済を維持するため、輸出をダイヤモンドと金のみに限定する政策をとった。 4. 農業技術の革新により、鉱産資源の輸出に代わってコーヒーやカカオなどの農作物の輸出が急増した。
-
- 問10 アフリカ州では、かつての植民地時代にヨーロッパ諸国によって開かれた、カカオやコーヒーなどの特定の農作物を大規模に栽培する農園が多く見られます。このような大農園の名称と、そこで生産される農作物の主な目的の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2022年 岩手県公立入試 類似)
1. センターピボットー 自国内の食料自給をまかなうため 2. センターピボットー 主に国外へ輸出するため 3. ブランテーションー 自国内の食料自給をまかなうため 4. ブランテーションー 主に国外へ輸出するため
-
- 問11 地球上の位置を示す基準となる「緯度0度の線」と「経度0度の線」が交わる地点はどこですか。アフリカ大陸周辺の地理的特徴を踏まえて、最も適切な場所を選びなさい。 (2017年 大分県公立入試 類似)
1. アフリカ大陸西側のギニア湾付近 2. アフリカ大陸北部の地中海沿岸 3. アフリカ大陸中央部のヴィクトリア湖付近 4. アフリカ大陸南端の喜望峰付近
-
- 問12 2015年の統計において、世界のダイヤモンド生産量の約33%を占めるロシアに次ぎ、世界第2位（約16%）の生産量を誇るアフリカ南部の国はどこですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
1. ブラジル 2. 南アフリカ共和国 3. コンゴ民主共和国 4. ボツワナ
-
- 問13 輸出総額の約半分をコーヒー豆が占め、次いで野菜や切り花といった農産物が品目別の割合の上位を占める国があります。このような一次産品の輸出に依存する経済構造が抱えるリスクとして、最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 山口県公立入試 類似)
1. 輸出額と輸入額が常に一定の割合で連動するため、外貨不足に陥る心配が全くない。 2. 高度な加工技術が必要とするため、国内の教育水準が上がらないと製品を生産できない。 3. 特定の品目の生産に集中することで、世界市場のシェアを独占し価格決定権を握ることができる。 4. 国際価格の下落や天候不順による不作が、国家財政や国民生活に深刻な打撃を与える。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 アフリカ州	世界の将来人口予測において、最も顕著な増加傾向を示しているのがアフリカ州です。20世紀半ばから21世紀末にかけて、他の州と比較して圧倒的な人口急増が続くと予測されており、世界の人口構成に大きな影響を与えるとされています。
問2	答え 3 同一の民族が複数の国に分断されたり、敵対する民族が同じ国に共存したりすることによる紛争の発生	植民地支配時代に引かれた人為的な国境線は、民族の居住範囲を無視したものでした。独立後、一つの国家内に複数の民族が混在したり、一つの民族が複数の国家に分断されたりしたことが、政治的不安や内戦、国境をめぐる紛争が絶えない大きな背景となっています。
問3	答え 3 アフリカ諸国が結成したAUは、政治的・経済的な統合を強め、地域内の紛争解決や発展を自らの手で進めることを目指している。	アフリカ連合（AU）は、アフリカ諸国がかつての植民地支配の影響や、特定の産品に頼る経済構造（モノカルチャー経済）、そして頻発する紛争といった課題を解決するために結成されました。他地域の勢力に依存するのではなく、アフリカ自らの手で平和の構築や経済成長を促進する「地域統合」の枠組みであることが大きな特徴です。共通通貨などの構想はありますが、現時点で全加盟国への導入は実現しておらず、課題も多く残っています。
問4	答え 1 モノカルチャー経済	ナイジェリアのように、特定の一次産品の輸出に頼り切っている状況をモノカルチャー経済と呼びます。2023年のデータでは輸出の約8割が原油、約1割が液化天然ガスとなっており、輸出総額のほとんどをわずかな品目のみが占めているのが特徴です。この言葉は、単一のものを意味する「モノ」と、栽培や文化を意味する「カルチャー」に由来しています。
問5	答え 2 レアメタル	現代のハイテク産業において、電子機器や電気自動車のバッテリーなどに欠かせない希少な金属はレアメタル（希少金属）と呼ばれます。埋蔵量が限られているだけでなく、特定の国や地域に産出が偏っているため、供給の安定が国際的な課題となっています。
問6	答え 2 植民地時代の国境線によって民族が分断されたり内陸国が生じたりしたため、国境を越えた経済協力や紛争解決の枠組みが必要だから。	アフリカの国境線の多くは、植民地支配を行っていたヨーロッパ諸国の都合によって、経線や緯線などを利用して直線的に引かれました。その結果、元々住んでいた民族の分布が無視され、一つの国家の中に多様な民族が混在したり、逆に民族が分断されたりして紛争の火種となりました。また、海に面しない内陸国が数多く生まれたことで、輸出入を近隣諸国に依存せざるを得ない構造があります。AUは、こうした歴史的・地理的なハンデを乗り越え、州全体の安定と発展を追求するために活動しています。
問7	答え 3 とうもろこし	ケニアをはじめとする東アフリカ諸国では、とうもろこしの粉を湯で練り上げたウガリが主食として広く食べられています。乾燥に強く保存が効くとうもろこしは、この地域の農業において重要な役割を果たしています。
問8	答え 1 国家収入の大部分を原油の輸出に依存しているため、国の経済が大きな打撃を受ける	ナイジェリアのように、特定の資源や農産物の輸出に頼る「モノカルチャー経済」では、国際価格の変動が国家予算や国民生活に直結します。統計上、ナイジェリアの輸出総額は世界の原油価格の動きと連動して上下しており、価格の下落は外貨獲得の減少と経済的な不安定を招く大きなリスクとなります。
問9	答え 1 工業化が進んだことで、従来の鉱産資源に加えて機械類や自動車などの工業製品の輸出割合が増加した。	南アフリカ共和国は、以前は豊富な地下資源を背景に金やダイヤモンドなどの鉱産資源の輸出に依存する経済構造であった。しかし、近年は国内の工業化が着実に進展したことで、自動車産業などの製造業が成長した。その結果、輸出統計において機械類や自動車といった付加価値の高い工業製品が主要な品目として現れるようになり、産業の多角化が進んでいる。
問10	答え 4 プランテーション 主に国外へ輸出するため	ヨーロッパ諸国による植民地支配を受けていた時代に、カカオやコーヒー、茶、天然ゴムといった特定の作物を効率よく生産するために作られた大規模な農園をプランテーションと呼びます。これらの作物は現地の人々が消費するためではなく、ヨーロッパなどの先進国へ売る「輸出」を目的に栽培されており、その構造が独立後の現在も多くの国で続いています。センターピボットは、地下水にスプリンクラーを回転させて散水する乾燥帯の灌漑農法を指すため、文脈が異なります。
問11	答え 1 アフリカ大陸西側のギニア湾付近	緯度0度の赤道は、アフリカ大陸中央部のヴィクトリア湖を通るとともに、西側のギニア湾を横断しています。一方、経度0度の本初子午線は、ロンドンから南下してアフリカ大陸西部のアルジェリアやガーナを通り、ギニア湾へと抜けます。このため、緯度0度と経度0度が交差する地点は、アフリカ大陸西側に位置するギニア湾の海上となります。
問12	答え 4 ボツワナ	アフリカ大陸南部に位置するボツワナは、鉱業が経済の柱となっており、特にダイヤモンドは世界有数の生産量を誇ります。統計データではロシアが首位ですが、ボツワナも世界の約6分の1を占める重要な生産国です。南アフリカ共和国やコンゴ民主共和国も鉱産資源が豊富ですが、この統計における第2位のシェアはボツワナの特徴です。
問13	答え 4 国際価格の下落や天候不順による不作が、国家財政や国民生活に深刻な打撃を与える。	モノカルチャー経済の最大の特徴は、経済の不安定さにあります。自国で価格をコントロールできない国際市場の変動や、干ばつなどの自然災害によって特定の作物の収穫が減ると、輸出収入が激減し、経済全体が立ち行かなくなる危険性を孕んでいます。